

陸前高田市の子どもたちの様子について

陸前高田市教育委員会

■ はじめに

現在の陸前高田市の子どもたちがどのような状況にあるのか、諸調査を基に分析した結果を、知育・徳育・体育のそれぞれの視点からお知らせします。学校、子ども、保護者、地域、行政の5者が、情報を共有することで、子どもたちの可能性を一層伸ばすことができると考えています。

■ 陸前高田市がめざす学校教育

陸前高田市教育委員会では、「**確かな生きる力**」を育む学校教育の充実を通して、**将来のまちづくりを担う子どもの育成**を目指しています。（「確かな生きる力」とは、子どもたちが自らのよさを発揮しながら、社会に適應できる能力のことです。）

■ 陸前高田市が目指す子ども像

- ◆心身ともに健康で、意欲的に活動する子ども
- ◆各教科等の学習内容を着実に身につけ、確かな学力を育む子ども
- ◆自己の生き方を見つめ、目標実現に向けて向上心をもって取り組む子ども
- ◆社会規範をしっかりと身につけ、自他を尊重する子ども
- ◆地域の一員としての自覚と愛着を持ち、地域を大切に使う子ども

■ 具体的な取組

1 確かな学力の育成

- 計画的に授業を工夫・改善し、「わかった」「できた」と実感できる授業を目指します。
- 小中学校が連携し、学習規律を確立・育成します。
- 授業と家庭学習の内容を関連させながら、家庭学習の習慣化を図ります。
- 英語検定や国際交流に積極的に取り組み、外国語教育の充実を図ります。

知育

2 豊かな心の育成

- 道徳教育や特別活動を充実し、地域や郷土を愛する心や態度を育成します。
- あいさつの励行やボランティア活動の推進により、相手を思いやる心を育成します。
- 学校図書館を整備し、読書活動の充実を図ります。

徳育

3 健やかな体の育成

- 学校体育を充実し、体力の向上と運動に親しむ態度を育成します。
- 健康教育を充実し、基本的な生活習慣の定着を図ります。
- 安心・安全な学校給食の提供と食育の推進を図ります。

体育



【参考】

- ①活用した調査は次の通りです
 - ・平成27年度全国学力・学習状況調査（4月実施）
 - ・標準学力調査（4月実施）
 - ・生活行動等調査（4月実施）
 - ・平成27年度全国（岩手県）体力・運動能力、運動習慣等調査（6～7月実施）
- ②本内容は市のホームページにも掲載予定です。

1 知育について

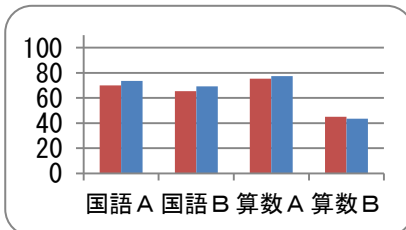
- 小学生は震災後の学力低下は見られず良好
中学生は概ね良好も 数学、英語にやや課題
- 課題は小・中学生ともに思考力、表現力

(1) 学力について

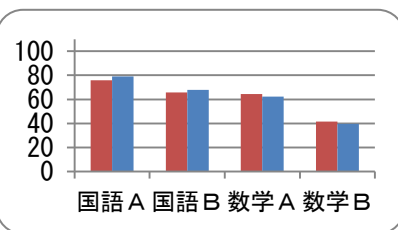
- 各種学力調査結果における本市の子どもたちの平均正答率は、小・中学生ともに概ね全国と同等ととらえられます。中学生は国語がここ数年継続して全国を上回っているものの、数学と英語にやや課題が見られます。【グラフ1、2】
- 結果を詳しく見ると、基礎的な知識や技能に関する内容は身につけているものの、知識や技能を用いて考える力と自分の考えをわかりやすく説明するなどの表現力に関する内容にやや課題が見られます。

【グラフ1…全国学力調査結果 ※1】

○小学校6年生



○中学校3年生



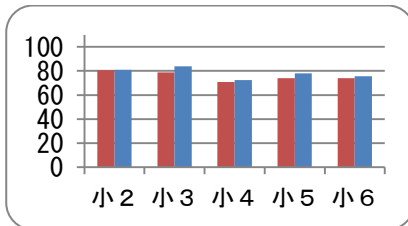
☆グラフについて☆

児童生徒の平均正答率 (%) を、
全国の結果は赤
陸前高田市の結果は青
で示しています。

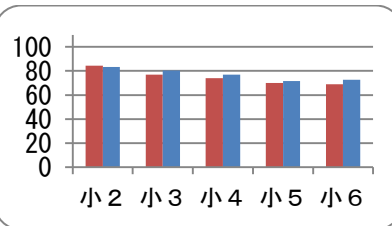
※1 全国学力・学習状況調査…毎年4月に全国全ての小学校6年生及び中学校3年生を対象に実施するもの。A問題は主に基礎的な知識に関する内容、B問題は主に知識を活用する力を問う内容 学習習慣等を問う質問紙調査も行う。

【グラフ2…標準学力調査結果 ※2】

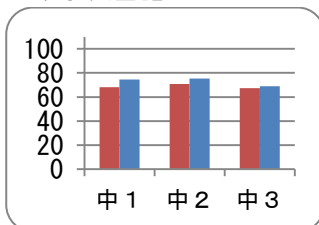
○小学校国語



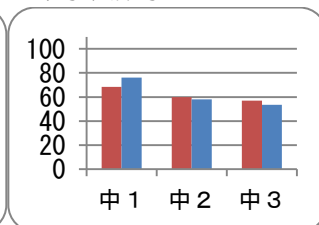
○小学校算数



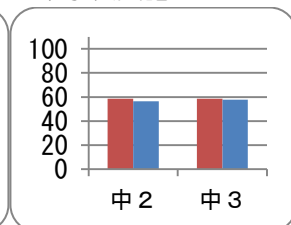
○中学校国語



○中学校数学



○中学校英語



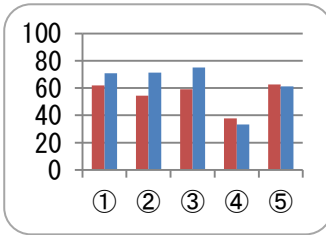
※2 標準学力調査…毎年4月に本市の小学校2年生から中学校3年生までの児童生徒を対象に市教育委員会で実施する全国規模の学力調査 生活行動等調査という学習習慣等を問う質問紙調査も併せて行う。

(2) 学習習慣について

- 小・中学生ともに学習計画を立て、復習に取り組むなど、望ましい家庭学習習慣が身につけている一方、家庭学習時間が全国に比べ短く、予習に取り組む中学生が少ないことが課題です。
- 平日に2時間以上テレビを視聴する小学生が、全国に比べ多いことも課題です。【グラフ3】

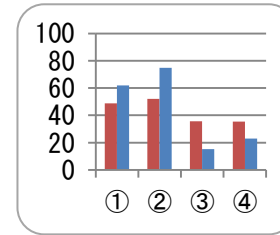
【グラフ3…全国学習状況調査結果】

○小学校6年生



- ①自分で計画を立て勉強する
- ②授業の復習をする
- ③平日に2時間以上テレビを視聴
- ④1日に30分以上読書をする
- ⑤平日に1時間以上学習する

○中学校3年生



- ①自分で計画を立て勉強する
- ②授業の復習をする
- ③平日に2時間以上学習する
- ④授業の予習をする



☆グラフについて☆

肯定的な回答をした児童生徒の割合(%)を、全国の結果は赤、陸前高田市の結果は青で示しています。

2 徳育について

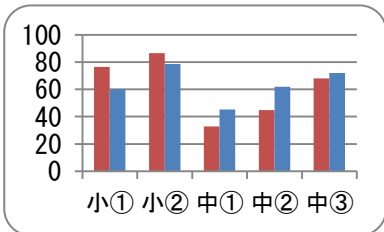
- 小学生…思いやりのある子どもたち 自己肯定感の低さが課題
- 中学生…地域愛に溢れ、地域の復興の担い手としての高い意識

■ 小・中学生ともに、困っている人の手助けを積極的にする、温かく思いやりのある子どもが育っています。さらに中学生は、地域を支え、将来のまちの復興を担おうとする意識が高いといえます。

■ 「自分にはよいところがある」「自分は大切な存在である」と考えている子どもが少ないことは課題です。【グラフ4、5】

【グラフ4…全国学習状況調査結果 ※1】

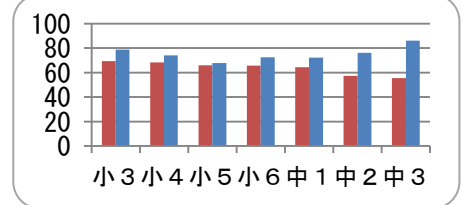
○小学校6年生、中学校3年生



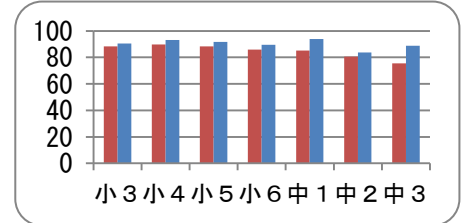
- 【小学校6年生】
- 小①自分にはよいところがある
 - 小②将来の夢や目標をもっている
- 【中学校3年生】
- 中①地域をよくするために何をすべきか考える
 - 中②地域の行事へ参加している
 - 中③自分にはよいところがある

【グラフ5…生活行動等調査結果 ※2】

○困っている人を手助けしている



○自分が住んでいる地域が好きである



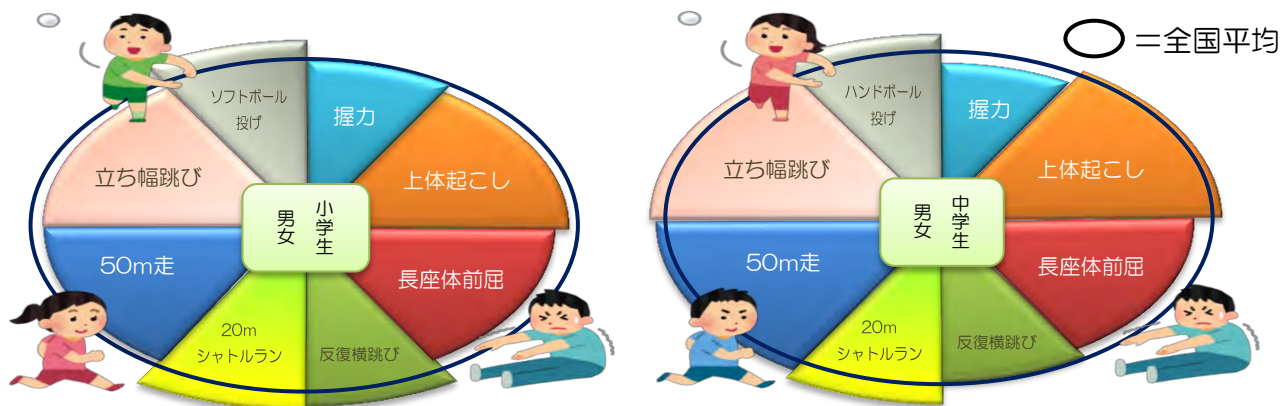
3 体育について

- 小中学生とも体力・運動能力は全国並みの水準 持久力と投げる力で好結果
- 「長座体前屈」が小中学生とも全国平均以下 柔軟性に課題

震災の影響もあり、決して恵まれているとはいえない限られた環境の中ではありますが、陸前高田市の子どもたちは、国内外からの支援や、学校・家庭・地域に支えられながら、体を使った遊びや運動に取り組み、体力・運動能力においても成長しています。

■ 「20mシャトルラン」は「全身持久力」、「ソフト(ハンド)ボール投げ」は「巧緻性」(※器用さ、行動を調整する調整力)に関する種目です。

【グラフ6…全国（県）体力・運動能力調査結果】



4 今後に向けて

課題を改善するためには、教育委員会と学校、そしてご家庭や地域のみなさまと一体となった取組が必要です。そこで下記のような取組を進めてまいります。地域の宝である子どもたちを共に育ててまいります。ご協力をお願いいたします。

■ 教育委員会では

- ・ 課題のある内容について、子どもたちの「わかる」「できる」につながる指導の在り方の研究を進めるとともに、各種研修会を実施し、教員のさらなる指導力の向上に努めます。
- ・ 道徳教育や特別活動の充実を図り、地域や郷土を愛する心と態度を育成するとともに、あいさつの励行やボランティア活動の推進により、相手を思いやる心を育成します。
- ・ 児童生徒が1日に合わせて60分以上運動（遊び）に親しみ、運動習慣を身につける「希望郷いわて元気・体力アップ60（ロクマル）運動」に取り組み、体力向上を図ります。

■ 各学校では

- ・ 子どもたち一人一人に応じ、「わかる」「できる」ようになる指導に努めるとともに、課題のある内容については、補充指導等の様々な取組により、学力保障に努めます。
- ・ 仲間同士が思いやり、認め合える集団（学級）づくりに努めるとともに、教科以外の学習にも力を入れ、自分の地域をより深く知り大切にしようとする子どもを育成します。
- ・ 体育の授業はもとより、休み時間等を効果的に活用した体力向上運動に継続して取り組み、子どもの体力維持と向上に努めます。

■ 家庭や地域では（お願い）

- ・ 「早寝、早起き、朝ご飯」を中心とした基本的な生活習慣を身につけさせましょう。
- ・ テレビを見る時間を減らし、学習に取り組む時間を増やしましょう。また、本や新聞を読む時間を増やすことで、子どもの視野を広げ、社会に目を向けさせましょう。
- ・ 子どもと将来の夢や目標について話し合しましょう。
- ・ 運動に親しみ、機会を見つけ、積極的に運動に取り組みさせましょう。
- ・ 家庭や地域での役割を与え、「役に立った」「感謝された」体験をさせる中で、子どもをたくさんほめましょう。
- ・ 大人から積極的に挨拶するなど、地域の子どもたちにたくさん声をかけましょう。

発行：平成 27 年 12 月

担当：教育委員会学校教育課 54-2111（内線 285）